

## 令和2年度 さいたま市立馬宮中学校 自己評価書

校長 山田 尚弘 印

### 1 学校で設定した「令和2年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 言語活動の充実と基礎学力の向上  
【評価項目】教育課程・学習指導の実施状況
- (2) 生徒の豊かな心とよりよい生き方を追求する心の育成  
【評価項目】生徒指導（いじめ防止を含む）・教育相談の状況
- (3) 健康で安心・安全な学校生活の推進  
【評価項目】学校環境・学校保健・学校安全の状況
- (4) 情報公開と保護者・地域との双方向コミュニケーションの促進  
【評価項目】保護者・地域との連携の状況
- (5) 小・中一貫教育の推進と充実  
【評価項目】保護者・地域との連携の状況

### 2 評価結果について

- (1) 教育課程・学習指導の実施状況  
生徒アンケート：A B評価が約81.8%（昨年度比 -1.0 ㊦）  
保護者アンケート：A B評価が約88.9%（昨年度比 +0.7 ㊦）
- (2) 生徒指導（いじめ防止を含む）・教育相談の状況  
生徒アンケート：A B評価が約97.9%（昨年度比 -0.3 ㊦）  
保護者アンケート：A B評価が約86.8%（昨年度比 +3.9 ㊦）
- (3) 学校環境・学校保健・学校安全の状況  
保護者アンケート：A B評価が約93.4%（昨年度比 ±0 ㊦）  
教職員自己評価：A評価が約5%、B評価約82%
- (4) 保護者・地域との連携の状況  
保護者アンケート：A B評価が約85.8%（昨年度比 -3.7 ㊦）  
地域アンケート：A評価が約40%、B評価が約40%
- (5) 小・中一貫教育  
教職員自己評価：A評価が約36%、B評価が約59%

### 3 次年度に向けた具体的な改善策について

(1)、(2)については、保護者からは良好の評価が昨年度より増加し、概ね満足できる成果を上げたが、生徒からの評価は低下した。これは、新型コロナウイルス感染症の影響と考えられる。また(4)についても、本年度は学校公開等を行うことができなかったため、昨年度と比較して厳しい評価となった。

(5)については、本校学区内に小学校が4校あるため、連携がなかなか難しいが、相互の授業参観や小学生の体験授業・部活動体験内容等、内容のさらなる工夫と充実を図る必要がある。